

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 5 月 14 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (5/14 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレ系: 約 2.0 m ³ /h	23.1	106.7 kPa abs	A系: 0.09 vol%
		給水系: 約 2.5 m ³ /h			B系: 0.09 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレ系: 約 3.6 m ³ /h	36.5	5.00 kPa g	A系: 0.07 vol%
		給水系: 約 2.0 m ³ /h			B系: 0.06 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレ系: 約 3.5 m ³ /h	34.6	0.26 kPa g	A系: 0.14 Vol%
		給水系: 約 2.0 m ³ /h			B系: 0.12 vol%

*: 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (5/14 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	18.0
2号機	循環冷却システム	運転中	19.1
3号機	循環冷却システム	運転中	16.9
4号機	循環冷却システム	運転中	25

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルヘッドの注入を適宜実施。

【4号機】5/15 使用済燃料プール代替冷却系電源(一次系)の二重化工事を行うため、当該冷却系を停止予定(停止期間は約5時間を予定)。なお、4号機使用済燃料プール水温は5/14 11 時時点で 25 であり、冷却系停止時のプール水温上昇率評価値は 0.351 /h で停止中のプール水温上昇は約 2 と評価されることから、運転上の制限値 65 に対して余裕があり、使用済燃料プール水温管理上問題ない。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋地下	5/7 9:50~5/13 9:24 移送実施
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	4/24 17:08~5/13 9:47 移送実施

・H25/1/28 東北地方太平洋沖地震により、建屋および屋外トレンチが浸水している5・6号機について、建屋内の水位上昇を抑制するため、建屋内滞留水の移送を継続しているが、更なる安全性向上に資することを目的として、非常用ガス処理系*1の屋外トレンチから仮設タンクへの滞留水の移送を開始。

*1 原子炉建屋内の空気を高性能のフィルターで浄化して排気筒より放出する系統で、(A)、(B)の2系列ある。

< 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (5/14 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

・H25/3/30 9:56 ~ 多核種除去設備(ALPS)の3系統(A~C)のうちA系統において、水処理設備で処理した廃液を用いた試験(ホット試験)を開始。

5/12 9:59 ソフトウェアの変更並びに一部機械部品の交換を行うため、多核種除去設備(ALPS)を停止。

< 5 . その他 >

・H23/10/7 ~ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5,6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。

・H24/4/25 ~ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

・H25/1/8 ~ 4号機燃料取り出し用カバーのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。

・H25/5/9 9:44 ~ 6号機補機冷却系熱交換器(A)出入口弁点検に伴い、使用済燃料プール冷却系を停止(停止時プール水温度:15.8)し、残留熱除去系による原子炉停止時冷却運転(原子炉側の冷却)と非常時熱負荷運転(使用済燃料プール側の冷却)を交互に切り替えて冷却する運用を開始。

・H25/5/14 10:30 ~ 16:30 2号機サブプレッションチェンバ内へ窒素ガスを5Nm³/hで封入実施。なお本作業は5/17までの各日日中6時間程度を予定しており、本日(5/14)同様、各種関連パラメータの応答を確認する予定。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

< 拡散防止対策 >

5/13 地下貯水槽 No.1 ~ 3の漏えい検知孔内に漏えいした水および地下貯水槽 No.2のドレン孔に漏えいした水をノッチタンクへ移送する処置を実施。

5/14 地下貯水槽 No.1, 2の漏えい検知孔内に漏えいした水および地下貯水槽 No.2のドレン孔に漏えいした水をノッチタンクへ移送する処置を実施。

地下貯水槽 No.3の漏えい検知孔内に漏えいした水を当該貯水槽へ戻す処置を実施。

< サンプルング実績 >

5/13 地下貯水槽 No.2 観測孔(2-7)のサンプルングを実施。全ベータは検出限界値未満を確認。

地下貯水槽 No.1 ~ 7のドレン孔水(14 箇所)、地下貯水槽 No.1 ~ 4,6の漏えい検知孔水(10 箇所のうち2箇所は試料採取不可)、地下貯水槽観測孔(22 箇所)、および海側観測孔 ~ についてサンプルングを実施。分析の結果、前回の分析結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上